

## OUR APPROACH

## 知的財産戦略

## 知的財産方針

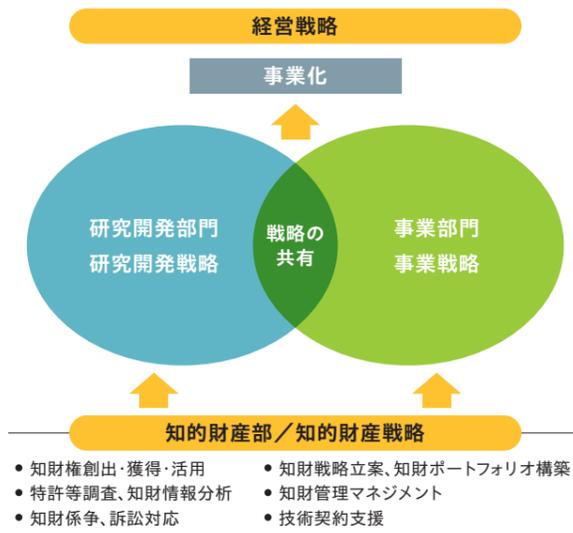
明電グループが目指す社会の実現のためには、開発力の深化による「既存事業の競争力強化」と「新製品・新規事業の創出」という両利きの経営を支える研究開発が不可欠です。そして、その土台となるのは、製品・技術を支える基盤技術の継続的な進化と事業・研究開発を支える戦略的知的財産活動であり、知的財産を経営資源と捉え、戦略的に活用していくことが重要です。

明電グループでは、企業価値向上に貢献する知的財産の創出・獲得・活用を知的財産戦略の基本方針とし、研究開発部門・事業部門と連携して、獲得すべき技術の特定・権利化を推進しています。将来の経営資源となる知的財産権の保護・強化を図るとともに、その活用により社会課題の解決に貢献し、サステナビリティ経営に資する知的財産活動を展開していきます。

## 知的財産活動を通じたサステナビリティ貢献

サステナビリティ経営に資する知的財産活動の一環として、知的財産制度を所管する国連の専門機関WIPO(世界知的所有権機関)の環境技術プラットフォーム「WIPO GREEN」への当社環境技術の登録を拡充しています。これにより、世界中の企業・機関との共創を進め、当社環境技術の普及に努めています。2023年度には、電動モビリティなどに使われるバッテリーの評価試験の信頼性向上に貢献する「バッテリー試験用充放電装置」を、新たにWIPO GREENに登録しました。

更に、展示会を通じてこれらの取組みを紹介するなど、環境技術に関する情報の積極的な社外への発信にも努めています。



## TOPICS

## シーズ技術の知的財産権獲得

新規事業を成功に導くためには、シーズ技術の知的財産化が重要になります。そこで、シーズ技術の潜在力を最大限に活用するため、実用化を視野に入れた権利範囲の設定・ポートフォリオ構築を行っています。これらの取組みにより、当社独自の技術を保護するとともにイノベーション活動の活性化により、競争上の優位性を確保しています。



超高温・高純度ピュアオゾン水生成装置

**減圧生成方式(特許出願済)** オゾンガス発生部から減圧下で供給するピュアオゾンガス(≒100%)をエジェクター方式で水に溶解させる技術

**促進酸化法(特許出願済)** ピュアオゾン水で、ラジカルを大量に発生させる技術



## イノベーション戦略

## イノベーション推進「MASTプロジェクト」

「中期経営計画2024」で掲げる「両利きの経営の推進」では、当社の事業活動がイノベーションを通じて新しい社会づくりを加速させることを目指しています。2022年度に立ち上げた「MASTプロジェクト」は、リーダーであるイノベーション担当役員のもと、新規事業創出を目指しています。そのために、新しい社会づくりにチャレンジしたい者とその人が発想したアイデアをテーマとして育て、事業を生み出す、そうした活動を根付かせることをプロジェクトのミッションと掲げています。

MASTプロジェクトの名称は、「(M)明電舎の(A)明日を(S)創造する(T)考える」の略であり、帆柱の意味も込めています。MASTプロジェクトでは、人と人、知恵と知恵が交わり合う対話を重視しており、様々な人の考えや情報に触れることでテーマに取り組む人の成長を促進し、個人アイデアレベルのテーマを事業へと成長させています。具体的には、各テーマは技術開発と事業開発の両面からアプローチしながら事業アイデアを練り上げ、事業部門や社内外の専門家との連携も図っています。また、仲間集めを促進する「未来テーマコミュニティ」といった場を定期開催し人財交流も促進しています。



未来テーマコミュニティの様子

## 「両利き経営の推進」で前進する新規事業

2023年度は、MASTプロジェクトで推進するテーマの中から「超高温・高純度ピュアオゾン水生成装置」、「カテナリーアイのクラウド化によるコト売りサービスの実現」、「スタートアップ企業Elmodis Sp. z o.o.と協業したIoTによるモーターの解析・リモート監視」などを「集中テーマ」として設定し、事業体制整備や顧客開拓活動に注力しました。その結果、新規顧客からの問合せ・初受注を獲得することができました。

イノベーション人財の発掘と育成においては、アイデアコンテスト「MEIANチャレンジ」や、人と知恵の交流を促す「イノベーションサロン」などを開催し、多様な人財がイノベーションに取り組むきっかけとなる環境づくりを強化しています。

更に、新たな事業創出を目指し、ベンチャーキャピタルファンド等を活用しながら、当社との事業シナジーが期待できるスタートアップの探索やパートナー企業様との共創活動にも積極的に取り組んでいます。今後も、社外と積極的につながりを持つことを重視し、世の中の最新動向や社会課題に向き合いながら、新規事業創出を実現するイノベーション活動を推進していきます。



アイデアコンテスト「MEIANチャレンジ」

## TOPICS

スタートアップ企業Elmodisとの協業「IoTによるモーターの解析・遠隔監視システム」を初受注  
～解析・遠隔監視サービスをサブスクリプションで提供開始～

明電舎は、2023年7月に三井住友海上火災保険株式会社向けに、冷却水循環ポンプ用の「IoTによるモーターの解析・遠隔監視システム」をサブスクリプションサービスの販売形式で初受注しました。このシステムは、当社がマイノリティ出資をしているポーランドのスタートアップ企業であるElmodis Sp. z o.o.との協業によるもので、同社が欧米のポンプ設備向けに展開している解析・遠隔監視技術を活用し、明電舎のモーター事業のノウハウを融合させることで日本向けにカスタマイズした新サービスとなります。

また、2024年1月には本システムにて検知した異常情報を明電舎のカスタマーセンターで監視し、お客様が必要とするサポートを24時間365日体制で提供する新サービスを開始するなど、価値提供の拡充を図っています。



遠隔監視システムの設置例